

エコアクション21

環境経営レポート
(第14回)

2023年 6月 ～ 2024年 5月



®環境省

エコアクション21

認証番号 0008010

発行日 2024年 7月 31日

タイヨウ鉄工建設株式会社

タイヨウ鉄工建設株式会社

環境経営方針

◎環境理念

当社は公共工事の施工(主に水門・交通安全維持施設)に当たり、全社員で人類共通の重要課題の一つである環境負荷を低減する目標達成に積極的に取り組み、地球・地域環境保全に貢献する環境経営を継続的に行います。

◎基本方針

当社は事業活動に関する環境負荷を低減する為、自主的・積極的に環境への取り組みと継続的な環境負荷の削減を図り、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みを行っていきます。

- ① 二酸化炭素排出量(使用電力・使用燃料)の削減
- ② 廃棄物の削減及び分別処理の徹底
- ③ 水使用量の削減
- ④ 化学物質の使用量の把握
- ⑤ グリーン購入の推進と環境に配慮した製品の使用
(使用資材、事務用品)
- ⑤ リサイクルの促進及び産業廃棄物の適正処理
- ⑥ 現地測定の精度向上と適正な材料購入
- ⑦ 地域清掃等、社会貢献活動への積極的な参加

当社が守らなければならない環境関連法規や条例等を明らかにし、これを遵守します。
この環境方針は、全従業員に周知するとともに、社外へも公表します。

制定日： 2022年 6 月 / 日

大久保 洋子

取組の対象組織・活動

●組織の概要

1) 名称及び代表者

タイヨウ鉄工建設株式会社 代表取締役 大久保 洋子

2) 所在地

本社・工場・倉庫

建設事業部 〒770-8001 徳島市津田海岸町2番94号

工場

鉄工事業部 〒770-0942 徳島市昭和町8丁目7番地

3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 大久保 洋子 TEL 088-662-0880

エコ21担当者 奥村 理恵 FAX 088-653-1304

4) 事業の内容

橋梁・水門、交通安全施設等の維持修繕

認可番号：土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、

許可業種：舗装工事業、しゅんせつ工事業、機械器具設置工事業、

水道施設工事業、塗装工事業、管工事業

5) 事業規模

規 模	単位	2021年 (基準年度)	2021年	2022年	2023年
売 上 高	百万	403	403	348	222
従 業 員	人	14	14	15	15
建設事業部					
事務所床面積	m ²	589	589	589	589
工場床面積	m ²	534	534	534	534
倉庫床面積	m ²	26	26	26	26
鉄工事業部					
事務所床面積	m ²	417	417	417	417
工場床面積	m ²	1,045	1,045	1,045	1,045

6) 事業年度

2023年6月1日 ～ 2024年5月31日

●認証・登録の対象組織・活動

対象組織名：タイヨウ鉄工建設株式会社 本社・工場・倉庫、工場

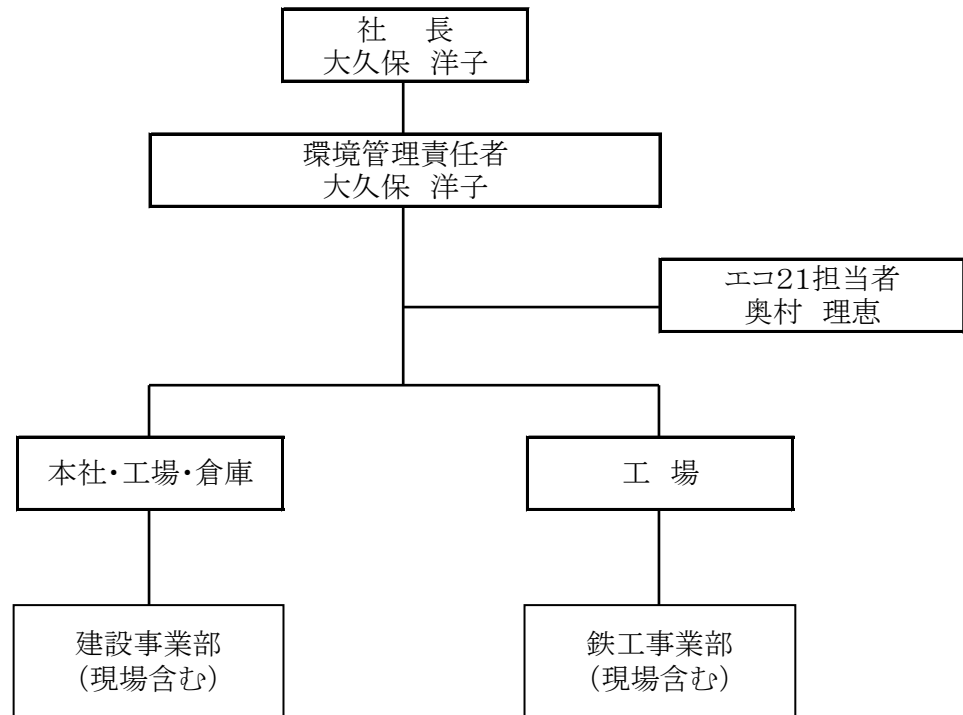
活動範囲：土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、

舗装工事業、しゅんせつ工事業、機械器具設置工事業、

水道施設工事業、塗装工事業、管工事業

●実施体制の構築

組織図



	役割・責任・権限
社長 環境管理責任者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・経営資源(人、もの、資金、情報等)の用意 ・各自の役割、責任及び権限を定め全従業員に周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・環境関連法規等の遵守確認の実施
エコ担当者	・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営の実績集計 ・環境経営レポートの作成 ・環境関連法規等取りまとめの作成
部門長 (現場責任者)	・自部門における環境関連法規等の周知 ・自部門における環境経営方針・環境経営計画の周知 ・自部門における手順書作成及び運用管理 ・自部門における問題点の発見、是正、予防処置の実施
全社員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営への参加

●環境経営目標

作成日 2024年 7月 31日
作成者 奥村 理恵

項 目		2021年度 実績(基準値)	2023年度 目 標 基準比1.0%削減	2024年度 目 標 基準比1.5%削減	2025年度 目 標 基準比2.0%削減
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)		62137	61516.0	61205.0	60894.0
電力使用量 (kWh/年)	鉄工	60842	60234	59929	59625
	建設	15400	15246	15169	15092
燃料使用量	ガソリン (L/年)	2608.4	2582.3	2569.3	2556.2
	軽油 (L/年)	7376.0	7302.2	7265.4	7228.5
	灯油 (L/年)	10.0	9.9	9.9	9.8
	液化石油ガス (m3/年)	建設 1.8	1.8	1.8	1.8
廃棄物	一般廃棄物 (kg/年)	640	634	630	627
	産業廃棄物 (kg/年)	13029	12899	12834	12768
水使用量 (m3/年)	鉄工	108	107	106	106
	建設	112	111	110	110
化学物質の使用量把握 (回/年)		4	4	4	4
グリーン購入 (品/年)		3	3	3	3
製品への配慮(現地測量)(工事物件毎)		全工事	全工事	全工事	全工事
社会貢献活動(清掃活動)(回/年)		4	4	4	4

※二酸化炭素排出係数：0.533(2021年度四国電力排出係数)

●2023年度の環境経営目標とその実績 (期間:2023年6月～2024年5月)
2023年度の目標は2021年度の1.0%削減とした。

項 目		目 標	実 績	評 価 (達成率%)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)		61516	58484	105
電力使用量 (kWh/年)	鉄工	60234	59085	102
	建設	15246	14797	103
燃料使用量	ガソリン (L/年)	2582.3	2617.8	99
	軽油 (L/年)	7302.2	5049.3	145
	灯油 (L/年)	9.9	0.0	100
	液化石油ガス (m3/年)	建設 1.8	1.5	120
廃棄物	一般廃棄物 (kg/年)	634	672	94
	産業廃棄物 (kg/年)	12899	24830	52
水使用量 (m3/年)	鉄工	107	106	101
	建設	111	108	103
化学物質の使用量把握 (回/年)		4	4	100
グリーン購入 (品/年)		3	3	100
製品への配慮(現地測量)(工事物件毎)		全工事	3	100
社会貢献活動(清掃活動)(回/年)		4	4	100

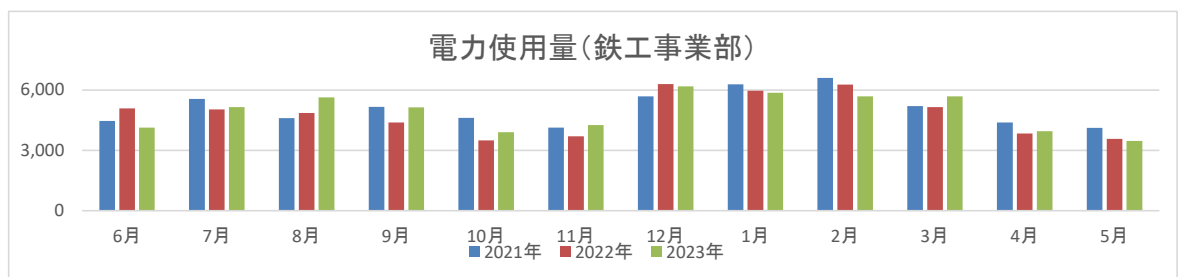
※二酸化炭素排出係数：0.533(2021年度四国電力排出係数)

注:現場事務所を設置するような大規模な工事は無く、自社内が現場事務所に相当するので環境目標は事務所と現場を同時に記載する。

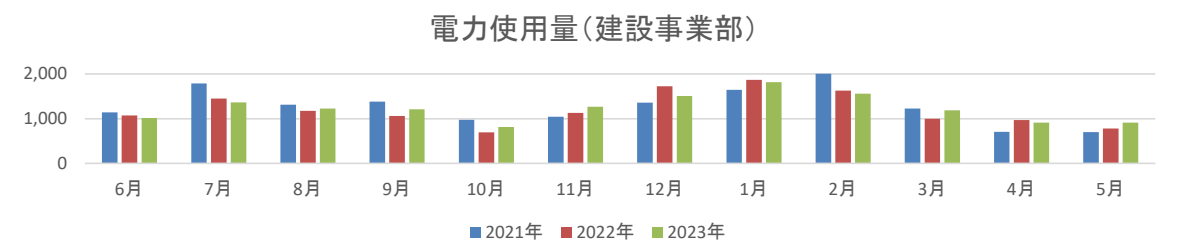
●2023年度環境経営計画・取組結果

(2023年6月～2024年5月)

取組項目	達成状況 目標値及び実績値 ()は達成率	評価 (次年度の取組を含む)
二酸化炭素排出量の削減 電力使用量 ・節電シールの貼り付け ・昼休みの消灯、不在箇所の消灯 ・エアコン設定温度 (冷房26℃、暖房22℃) ・パソコンのオートオフ ・作業予定の共有による残業時間の削減 ・サーキュレーターの利用	鉄工事業部 目標値 60234kWh 実績値 59085kWh (102%) 建設事業部 目標値 15246kWh 実績値 14797kWh (103%)	一年を通し、目標値との差が少なく、継続的に取組活動がなされている。 鉄工部門及び建設部門とも達成しており、こまめに節電を行うことが出来ているとみられる。 次年度も継続的に実施

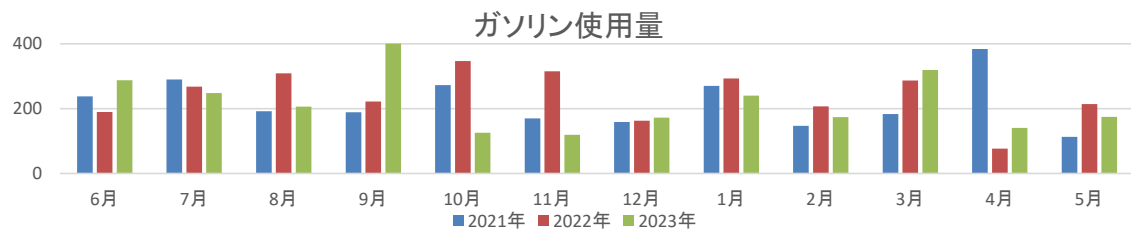


kWh	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	4,467	5,561	4,607	5,168	4,613	4,136	5,682	6,288	6,601	5,205	4,392	4,122
2022年	5,089	5,040	4,855	4,391	3,496	3,699	6,299	5,970	6,271	5,147	3,843	3,571
2023年	4,138	5,154	5,635	5,143	3,903	4,261	6,183	5,866	5,683	5,694	3,955	3,470

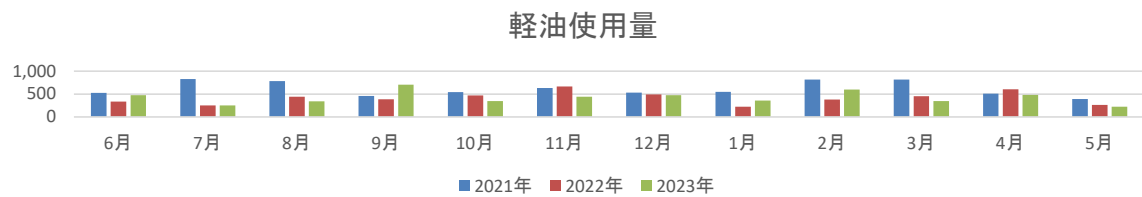


kWh	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	1,142	1,788	1,315	1,380	972	1,042	1,359	1,645	2,130	1,225	704	698
2022年	1,074	1,448	1,177	1,063	694	1,127	1,724	1,868	1,628	1,000	968	777
2023年	1,016	1,364	1,228	1,212	813	1,266	1,505	1,819	1,557	1,189	914	914

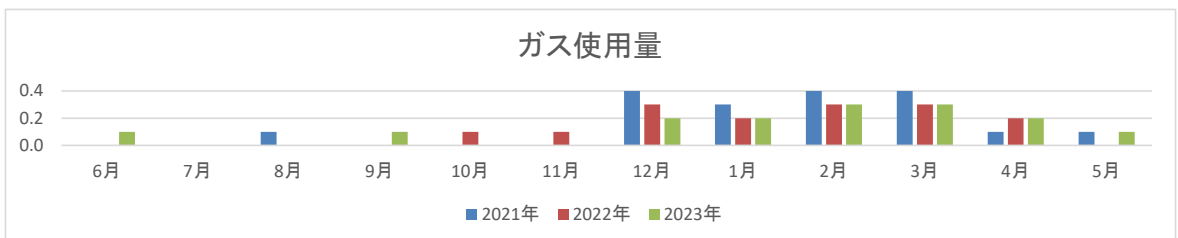
取 組 項 目	達 成 状 況 目標値及び実績値 ()は達成率	評 価 (次年度の取組を含む)
二酸化炭素排出量の削減 燃料使用量 ・定期的な整備 ・アイドリングストップ ・急加速・急停車の防止 ・不要物の積載禁止	ガソリン 目標値2582.3L 実績値2617.8L (99%) 軽油 目標値73002.2L 実績値5049.3L (145%) 灯油 目標値9.9L 実績値0.0L (100%) 建設 液化ガス 目標値1.8m3 実績値1.5m3 (120%)	ガソリンにおいては、目標値にほぼ達成している。 軽油においても目標値に達成しており、移動距離に近い現場が多かったと考えられるため使用数量が少なかった。 ガス使用量についても達成している。 次年度も継続的に実施



L	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	238	290	192	189	273	170	159	270	147	183	384	113
2022年	190	268	309	222	347	315	163	293	207	287	77	214
2023年	288	248	206	410	126	119	172	240	174	319	141	175

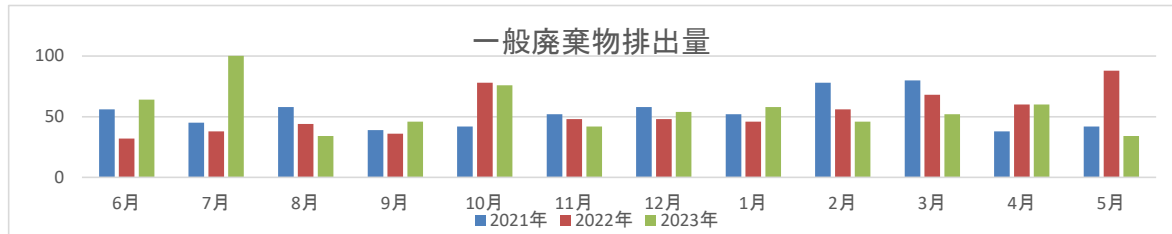


L	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	524	828	783	458	544	630	530	549	814	819	507	389
2022年	336	252	440	388	470	667	493	226	380	451	605	264
2023年	477	253	339	704	347	440	478	359	601	346	483	222



m3	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.4	0.4	0.1	0.1
2022年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.0
2023年	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1

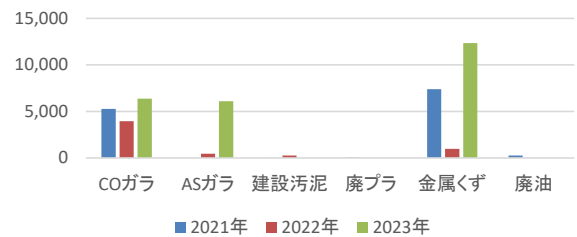
取 組 項 目	達 成 状 況 目標値及び実績値 ()は達成率	評 価 (次年度の取組を含む)
廃棄物排出量の削減 ・ミスプリントの裏面活用 ・ゴミ分別廃棄の徹底 ・鋼材残材のリサイクル ・梱包材を再利用する ・文書類の電子化	一般廃棄物 目標値634kg 実績値672kg (94%) 産業廃棄物 目標値12899kg 実績値24830g (52%)	一般廃棄物においては、目標値にほぼ達成している。廃棄物の内容をみると、今年度はペットボトルの空容器が多くみられた。 産業廃棄物においては、今年度も現場において適切に処理されていた。 次年度も継続的に実施



kg	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	56	45	58	39	42	52	58	52	78	80	38	42
2022年	32	38	44	36	78	48	48	46	56	68	60	88
2023年	64	106	34	46	76	42	54	58	46	52	60	34

産業廃棄物排出量

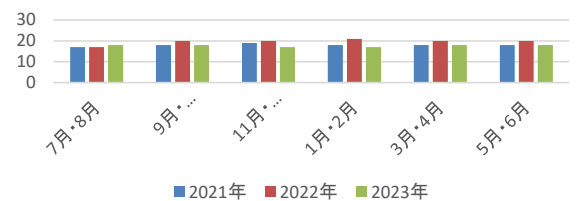
kg	COガラ	ASガラ	建設汚泥	廃プラ	金属くず	廃油
2021年	5,270	0	30	53	7,402	274
2022年	3,940	450	270	0	980	0
2023年	6,370	6,110	0	0	12,350	0



取 組 項 目	達 成 状 況 目標値及び実績値 ()は達成率	評 価 (次年度の取組を含む)
総排水量の削減 ・節水シールの貼り付け ・定期的な漏水チェック ・常時、節水を心掛ける	鉄工事業部 目標値107m3 実績値106m3 (101%) 建設事業部 目標値111m3 実績値108m3 (103%)	節水の意識が浸透しており、連続して目標値を達成している。 次年度も継続的に実施

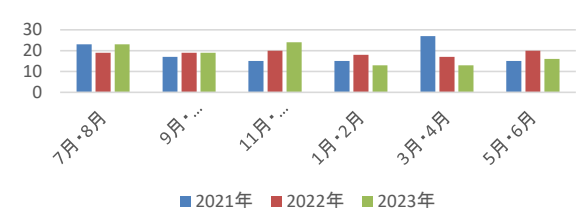
水使用量(鉄工事業部)

m3	7月・8月	9月・10月	11月・12月	1月・2月	3月・4月	5月・6月
2021年	17	18	19	18	18	18
2022年	17	20	20	21	20	20
2023年	18	18	17	17	18	18



水使用量(建設事業部)

m3	7月・8月	9月・10月	11月・12月	1月・2月	3月・4月	5月・6月
2021年	23	17	15	15	27	15
2022年	19	19	20	18	17	20
2023年	23	19	24	13	13	16



●次年度の取組内容
(2024年6月～2025年5月)

重点テーマ		具体的項目	担当者	2024年度														
				2024								2025						
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5			
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量 基準比1.0%削減	節電シールの貼り付け	各部門長															
		昼休みの消灯、不在箇所の消灯	全社員															
		エアコン設定温度(冷房26℃、暖房22℃)	各部門長															
		パソコンのオートオフ	全社員															
		作業予定の共有による残業時間の削減	全社員															
		サーキュレーターの利用	全社員															
	燃料使用量 基準比1.0%削減	定期的な整備	全社員															
		アイドリングストップ	全社員															
		急加速・急停車の防止	全社員															
		不要物の積載禁止	全社員															
廃棄物排出量の削減 基準比1.0%削減	ミスプリントの裏面活用	全社員																
	ゴミ分別廃棄の徹底	全社員																
	鋼材残材のリサイクル	全社員																
	梱包材を再利用する	各部門長																
	文書類の電子化	全社員																
総排水量の削減 基準比1.0%削減	節水シールの貼り付け	各部門長																
	定期的な漏水チェック	各部門長																
	常時、節水を心掛ける	全社員																
化学物質の使用量の把握	商品の化学物質についてまとめる (4回／年)	各部門長																
グリーン購入	使用する資材、事務用品等の購入時に エコマーク商品を推奨	各部門長																
製品への環境配慮 現地測量の精度向上と適正な材料購入	施工計画書に記載し、現地測量を確実にす (実測回数／工事物件)	各部門長 現場責任者																
地域清掃活動等の社会貢献		地域の清掃美化活動をする(4回程度／年)	全社員															

●対象となる持続可能な開発目標 (SDGs) 範囲



SDGs No.	項 目	当社対象有無	備 考
1	貧困をなくそう		
2	飢餓をゼロに		
3	すべての人に健康と福祉を	○	化学物質の適正管理
4	質の高い教育をみんなに		
5	ジェンダー平等を実現しよう		
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
8	働きがいも経済成長も		
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	○	長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道処理
15	陸の豊かさを守ろう		
16	平和と公正をすべての人に		
17	パートナーシップで目標を達成しよう		

●環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制等は次の通りである。

法令又は条例	適用される事項	順守状況の確認
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分 の委託、管理票(マニフェスト)の運用	○
リサイクル法	発生抑制(施工方法、資材選択) 再利用、再生利用、再資源化努力	○
再生資源利用省令	指定建設資材と再生資源の利用量の把握等による 計画の作成と実施記録の保存	○
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明・工事着手する 日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届出・ 発注者へ書面による完了報告	○
騒音規制法	杭打ち機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等を 使用する作業	○
振動規制法	杭打ち機、くい抜き機、ブレーカー、舗装破砕機 を使用する作業	○
オフロード法	建設機械を所有・使用する際 基準適合表示のある建設機械を使用等	○
消防法	アセチレンガス等の取扱い 火気の使用	○
浄化槽法	浄化槽の保守点検・定期検査の実施	○
フロン排出抑制法	全ての業務用冷凍空調機器において 簡易点検を3ヶ月に1回以上行う	○
徳島県・徳島市の 各条例	条例に従う	○
グリーン購入法	物品を購入する際、環境を考慮し必要性をよく考え 環境への負荷ができるだけ少ないものを選ぶ	○

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

●代表者による全体の評価と見直し・指示

今年度も目標達成率が高く、環境経営活動が継続的に行われていると高く評価できる。

日常的に環境に配慮した行動がとれており、社員一人一人の意識が高いと感じます。

前年度からの受注工事の伸び悩みは続きますが、社員一丸となって協力体制を整え
仕事の取り組み及び環境経営活動の取り組みを改善し、環境保全に貢献して欲しい。

※環境経営方針の変更は無

環境経営目標、環境経営計画の変更は無、実施体制の変更はありません。